



第374号
2017年12月
〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

宗教改革500年の記念大会

「神の言葉はすべての人のために」

「キリスト教の教派を越えた集い」



日本福音ルーテル教会 東海教区とプロテスタント諸教会の団体である名古屋キリスト教協議会が主催し、金城学院の協賛で「宗教改革500年記念大会」が11月3日、金城学院大学マニー・ランドル



松浦剛牧師(左)、斉藤幸二牧師(中)、松浦悟郎司教(右)

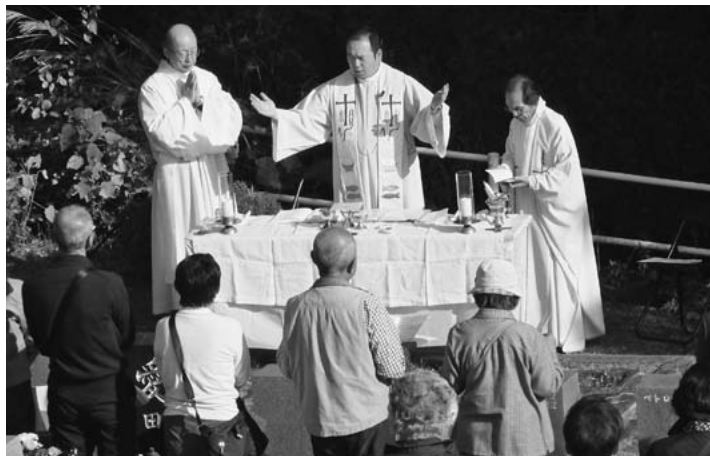
フ記念講堂(名古屋守山区)で公開講演された。はじめに松浦 剛牧師(名古屋キリスト教協議会議長/日本イエス・キリスト教団名古屋教会牧師)、斉藤幸二牧師(日本福音ルーテル教会東海教区教区長)のあいさつに続き、来賓としてカトリック名古屋教区長の松浦悟郎司教が招待され「ルターによる宗教改革は、ある意味でキリストの教会に立ち返ろうとする刷新運動のひとつだ」とあいさつした。

宗教改革500年を記念して開催されたこの大会では、ルーテル神学校の石居基夫校長による「信仰によって義とされる」とは、どういうことか」の基調講演が行われた。オルガニスト大木麻理さんによるパイプオルガン演奏、金城学院大学ハンドベル演奏が続いた。最後に全員が起立して聖公会の後藤香織司教によって宗教改革500年宣言が朗読された。この日は歴史や音楽に興味を持つ一般の参加者約200人が訪れた。

名古屋教区合同追悼ミサ

120人が追悼の祈りを捧げる

「故人と出会えた感謝と共に」



会)が主 司式、平田政信神父が共同司式し、早川和彦助祭が奉仕した。おおよそ120人の関係者が参列し、厳かに追悼の祈りを捧げた。北村神父は説教で、死者のために祈ることの意味を次のように話した。

教区合同の追悼ミサが11月5日、東八事霊園内の第二カトリック墓地で行われた。この日のミサは北村雅彦神父(聖心教)が主司式し、平田政信神父が共同司式し、早川和彦助祭が奉仕した。おおよそ120人の関係者が参列し、厳かに追悼の祈りを捧げた。北村神父は説教で、死者のために祈ることの意味を次のように話した。

「愛のよろこび」

「聖書における愛、家庭、家族」講演会

カトリック社会事業室

聖霊病院秋の聖書週間講演会が10月19日、聖霊病院で催された。講師にイェズス会司祭、佐久間勤神父を迎え、教皇フランシスコの使徒的勸告「愛のよろこび」より、「愛のよろこび」より、教皇の「愛のよろこび」は、創世記1章と2章に



重きをおいて書かれてある。人は「神の似姿」として、築かれる結婚、家庭、家族は、人間共同体の基礎であって、尊いものである。「人を深い眠りに落とされた。人が眠り込むと、人を創り上げられた。」(創世記2:22)人の深い眠りは、暗闇の中で現れる神の救いの力。「これこそわたしの骨の骨、わたしの肉の肉」(創世記2:23)寄り添い、助け合い、共に生きていく人の本来の姿、築かれていく家族共同体である。しかし、この社会の中には離婚・再婚問題、家庭の不和、経済格差による失業や災難による難民・移民の危機が迫っている。創世記4章の「カインとアベル物語」を説

速報

タルチシオ菊地 功司教、東京教区大司教に



教皇フランシスコは、東京教区のペトロ岡田武夫大司教の引退願いを受理し、後任として新潟教区のタルチシオ菊地功司教(59歳)を任命しました。バチカンが10月25日正午(日本時間同日午後7時)に発表しました。着座式は下記の通りです。

菊地功被選大司教の略歴

- 1958年11月1日 岩手県宮古市生まれ
- 1986年3月16日 司祭叙階(神言修道会員)
- 1986年~1994年 西アフリカ・ガーナで小教区司牧
- 1999年~2004年 カトリック神言修道会日本管区長
- 2004年9月20日 司教叙階(新潟教区)
- 2014年9月~ 教皇庁福音宣教省委員
- 2017年10月25日 東京大司教に任命

菊地功被選大司教の着座式のお知らせ

日時 12月16日(土) 11:00~
場所 東京カテドラル聖マリア大聖堂
東京都文京区関口3-16-15 ☎03-3943-2301

12月3日 宣教地召命促進の日(旧・宣教地司祭育成の日)・献金

キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、キリスト者一人ひとりに課せられた使命であり、神からの呼びかけにこたえること(召命)です。それゆえ、宣教地である日本において、すべての信徒がその使命を果たすよう、また宣教に従事する司祭・修道者がよりいっそう増えるよう祈ることは、とても大切なことです。

教区ホームページ	
福音のひびき	
12月の説教者	
3日	待降節第1主日 金 (恵方町教会)
10日	待降節第2主日 アルバート・ジョセフ (南山教会)
17日	待降節第3主日 早川 努 (岡崎教会)
24日	待降節第4主日 フェルディナール・パカリサ (布池教会)
25日	主の降誕 岩崎 一二三 (聖心教会)
31日	聖家族 ケレハ・ブレンダン (神言修道会)

New Year gathering to celebrate the new adults
2018年1月21日日
七千三百日、175,200時間をリセットして、新しい時を刻もう

◎とき
2018年1月21日(日)
14:00 司教ミサ
司教さまと青年委員会有志バンド演奏あり
16:00 茶話会(無料)
17:00 終了予定

◎ところ
ミサ 布池司教座聖堂
茶話会 地下ホール

主催 カトリック名古屋教区

新成人を祝う教区新年のつどい

憲法9条を世界に、平和を願う声ひろげよう

「平和の核心、私たちの確信 —憲法9条をたずさえて—」

松浦悟郎司教講演会



松浦悟郎司教の平和講演会が「平和の核心、私たちの確信—憲法9条をたずさえて」と題して10月17日、緑区の南生協病院会議室で開かれた。主催は聴覚障がい者と聴者の交流会である新婦人もみじ班で、聴覚障がい者13人、健聴者14人(うち手話通訳者2人)の計27人が参加した。

司教はまず、最近世界的にも勢いを増している、自国第一主義、国家主義とはどんなものであるかについて話された。自国第一主義は、ただ単に自分の国が一番大事、という事だけではない。国家体制によって利益を得ようとする者たちにとって都合のよい国の形であり、その利益の向くところは私たちにない、というところに問題がある。軍需産業を含む大企業や武器を売って利益を得たい人たちが、歴史修正主義などによって国家主義は強められていっている。

このような事態に対して私たちがどうしていけばいいか、ということについて、東チモールではインドネシア兵に「もし独立に一票を投じたら、殺しに行く」と脅されていた人たちが、投票当日、朝暗いうちから何時間もかけて投票所へ行き、賛成票を投じた。その結果、東チモールは独立を果たした。自分の命をかけてでも、未来に生きる人たちのために、誰にも侵されることのない独立した祖国を作りたいと願った。司教は、私たちがこう

した重い意味のある一票を投じなければならぬし、そのように平和を希求していかなければならないと指摘された。

そして、日本の憲法9条がいかに大きな力を持つかを語られた。災害救助や治安維持のために派遣された自衛隊が現地の民から怖れられなかったのは、9条により戦争が出来ないことと知っていたからで、「この9条を世界中が持ち、平和を願っていけば戦争はなくなる」と強調された。

この講演に対して参加者たちから、「分かり易くて良かった」「教会の話だったのでとても共感を感じた」「宗教者が立ち上がることで、私も参加しやすくなる」「もう一度聞きたい」などの感想が主催者に寄せられた。

司教は、私たちがこう

マザー・テレサ帰天20周年感謝ミサ

釜ヶ崎での「夜回り」体験

「あつちの人にやってくれ」「小さなことも大きな愛をもって」

マザーに倣う

貧しい中でも最も貧しい人々に、慈しみ深い愛で仕えたマザー・テレサ(コルカタの聖テレサ)が帰天して今年で20年。マザーの帰天日で記念日でもある9月5日、あま市の神の愛の宣教師会名古屋修道院の庭で感謝ミサが捧げられた。マザーを慕い、マザーに倣いたいと願う約150人が参列した。東京や大分からの参加もあった。松浦悟郎司教の司式で、共同司式司祭と助祭も10人が参加した。

松浦司教は説教で、朗読された福音の「小さい者」(マタイ25:40)について触れた。「小さい者」とは「弱い立場に置かれた人」という意味であって、決して「弱い者」ではない。その人の中に自ら立ち上がる力を持つており、対等で尊敬をもった一人である。具体的には、寝ているおじさんから少し離れたところから「身体は大丈夫ですか」と会話を始め、その後で「おにぎりを持ってきましょうか?」と、相手の意思を尋ねることを大切にすることという。凍えるようなある日、司教が、何もかぶらず寝

700人余の殉教から35年の追悼ミサ、膳棚教会で



寛文7年(1667年)10月、745人と乳飲み子14人のキリシタンが愛知郡高田村新田字藤塚(現在地名、名古屋市瑞穂区瑞穂町、名古屋市立大学経済学部学内)で処刑されたとの古文書記録に従えば、本年はそれから35年の節目にあたるので、10

月29日、膳棚教会で記念ミサが捧げられた。本来ならば、同地域を担当する膳棚教会が率先して発意・企画すべきであったが、今回はキリシタン史に詳しいパウロ村越好男さんからのミサ依頼によるものであった。今後、名古屋教区が名古屋市中区の栄國寺で主催している殉教者祭のように、この殉教者の方々もぜひ顕彰させていただきたい。《カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会編「あかしする信仰」(2012年刊)。(名古屋教区ホームページで全書掲載)の解説など参照》(主任司祭 寺尾總一郎)

運んでくださいました。それは、私たちにとても喜びです。イエス様の顔が広がったということですから、それがどんどん広がっていくと素晴らしいですね」と感謝を表した。

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

摘要	単月明細	2011.3.17 発災から 2017.10.31までの合計
	10/1~10/31	
募金、ご寄付 収入合計	(※1) 47,699	28,203,910
ベース他支援 支出合計	0	27,827,821
	支援金残高合計	376,089

(※1) 10月度に支援金のご協力いただいた小教区、個人(敬称略) 金沢教会

★名古屋教区は

「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とカリタス米川ベース、NPO法人「障がい者自立センターかまいし」、カリタス南相馬(旧・原町ベース)、カリタスジャパン(東日本大震災募金)の応援をしています。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願いします。

ご連絡・問合せ先
社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422

★支援金振込先

郵便振替用紙にて
口座番号 00880-6-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

新しい年、分裂の世界に一致を!



祭壇前のマザーの聖画

イベント会場すべてが大盛況

青空のもとで味わう

ワインは大好評

第14回AJUワイン フェスタ in 多治見修道院
 11月3日、岐阜県多治見市の神言修道会多治見修道院の広場で開かれた。



青空のもと広場とブドウ畑ではワインを酌み交わす老若男女や、お弁当を広げて昼食をとる家族づれなどが、楽しいひと時を過ごしていた。

ステージでは島幸子さんのワインセミナーや中部楽器技術専門学校生の演奏、河原崎辰也&ザ・ミッドランドバンドの演奏や、ケン・バルデイス&小林順さんのミニライブがあり、修道院の食堂では天野鎮雄さん、山田晶さんの朗読会も行われ、ワイン販売コーナーではワインの試飲が人気を呼び、ワイン販売も好調だった。



「アパレシーダの聖母とこどもの日」10月15日
 フェスティバルの写真
 教区ニュース11月号既報掲載。



台風でも

神言神学院オープンハウス

神から頂いた信仰を

証ししていく宣教



聖遺物に見入る参加者

台風22号が接近し朝から雨が降る中、「神言神学院のオープンハウス」(名古屋市中区八雲町)が10月29日開かれ、神学院の関係者や信徒約150人が参列した。大聖堂で10時30分から開会ミサが荘厳に行われ、神学院院长のヴァルギース・レジモン神父が司式した。

トの信仰を証しする事。また神を愛する事、隣人を自分と同じように愛する事、神から頂いた信仰を証しする宣教をすることです」と話した。

ミサのあと全員が院内の食堂に集まり、院長が「オープンハウスは集まる事、参加する事を喜びとし、楽しんでください」とあいさつし、暮林響神父の「交わりのために、支え合って宣教活動ができるように」と乾杯の音頭で会食が始まった。みんなで神学生が準備した美味しい料理を食べながら、参加者の会話がはず

んだ。会食の途中で、ザビエルハウスのメンバーや、フラトレスグループ、終生誓願者の自己紹介も兼ねて紹介が行われた。

昼食後は神学院ツアーが行われ、神学生の案内で院内をくまなく回った。普段では見る事の出来ない地下聖堂の説明や、特別な展示物の紹介と神学院の歴史などの説明を受けた。食堂に戻り豪華賞品が当たるビンゴゲームも行われた。15時から聖体賛美式で、オープンハウスは終了となった。

クリスマス&チャリティーコンサート

～復興への祈りと鎮魂～

オーケストラと合唱で灯す「希望の光」

日時 12月10日(日)
 開演 15:00 (開場14:15)
 会場 カトリック布池教会 名古屋カテドラル大聖堂
 入場料 1,000円 全席自由
 出演 指揮：中村暢宏
 管弦楽：名古屋テアトロ管弦楽団
 合唱：名古屋テアトロ合唱団 上井雅子(Sop)、
 宮崎智永(Ten)、坂本肇(Ten)、中原憲(Br)
 演奏曲：モーツァルト/レクイエムより「ラクリモーサ」、
 プッチーニ/トスカより「妙なる調和」、いのちの歌、
 Stand Alone、クリスマス讃美歌メドレー、他

チケット取扱い
 アイ・チケット 0570-00-5310、clanago.com/i-ticket
 (クレジット・コンビニ決済可)
 愛知芸文プレイガイド 052-972-0430
 問合せ 名古屋テアトロ管弦楽団/合唱団 上井(うわい)
 メール：taka.uwai@gmail.com できる限りメールにてご連絡ください。
 ☎(平日昼間) 080-2640-9278
 ☎(平日夜間・土日) 090-5604-9656

当日は東日本大震災復興支援のための募金箱を設置いたします。
 主催 名古屋テアトロ管弦楽団/合唱団
 後援 カトリック布池教会

緑ヶ丘教会でペルーの祭り

「奇跡の主」を祝う



「奇跡の主」とは南米ペルーの首都リマで、度重なる地震にも崩れ落ちることなく、多くの奇跡を生んだキリストの壁画。十字架に架けられたキリスト像を模して、金銀のまばゆいみこしに仕立てて街を練り歩く祭りで、毎年10月に盛大に行われる。

「奇跡の主(セニョール・デ・ロス・ミラグロス)」を祝う行列とミサが10月15日、緑ヶ丘教会(名古屋緑区)で行われた。名古屋近郊に在住するペルー人など約200人が参列した。台風の影響で行列とミサは聖堂内で行われ、フォンツ・マルセリーノ神父、ヤマス・ジュゼップ神父、島袋幹男神父が共同司式をした。

紫色の衣装に身を包んだ男性が、「奇跡の主」を描いたみこしを担ぎ、左右に揺らしながらゆつくりと聖堂内を巡行した。行列の途中、マルセリーノ神父は集まったペルー人を聖水で祝福した。行列が終わる聖堂内にみこしが静かにおろされ記念のミサが捧げられた。

2017年度名古屋教区

神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ

「移民・移住者の司牧について」(全4回)

第4回 2018年2月17日(土)
 「これからの移民・移住者の司牧について」
 講演者：松浦悟郎司教(名古屋教区司教)
 時間 13:30~15:30
 場所 カトリック教区センター2階
 名古屋市中区葵町2丁目6-35
 地下鉄東山線 新栄町駅2番出口 北東へ徒歩5分
 問合せ カトリック安城教会主任司祭 アントニー神父
 ☎0566-98-7766
 八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr. 武田)
 主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会
 名古屋教区正義と平和委員会

ラビリンスメディテーションへのおさそい

このたび聖霊ミッションセンターではラビリンスメディテーションのプログラムを準備しました。日常を離れ、静かに祈り、分かち合いたい方、どなたでもご参加ください。前もって申し込む必要はありません。

日程	テーマ
5 12月16日(土)	「わたしは荒野で叫ぶ声」
6 1月27日(土)	「心の貧しい人は幸い」
7 2月24日(土)	「これはわたしの愛する子」

時間 毎回13:30~16:30
 場所 聖霊ミッションセンター(旧八事聖霊幼稚園)
 名古屋市中区八事本町1
 参加費 200円 問合せ ☎052-832-0434

～ みんなで歌おう! ～

パイプオルガンと合唱と聖歌によるクリスマスのお話

聖書によるクリスマスのお話、合唱、パイプオルガン、ハンドベルなどの演奏を聴き、また来場の皆様も一緒にクリスマスキャロルを歌いましょう!

日時 12月23日(土・祝) 14:00開演(13:30開場)
 場所 カトリック南山教会大聖堂
 昭和区南山町1(地下鉄鶴舞線いりなか駅より徒歩5分)
 プログラム(予定)
 ・グレゴリオ聖歌・パイプオルガン・ハンドベルで奏でるクリスマスキャロル ほか
 みんなで歌いましょう!
 ・荒野のはてに、まきびとひつじを、もろびとごぞりて、しづげき真夜中 ほか
 出演者 Sr. 村上多美代(聖書朗読) Sr. 伊藤晶(独唱) 吉田文(オルガン) 名古屋女子大学生(ハンドベル) 名古屋グレゴリオ聖歌を歌う会 南山教会聖歌隊
 入場 無料(自由献金をお願いします)
 問合せ 吉田 090-6076-8490

— あらゆる壁を越える教会をめざす中で —



**めぐみカン
ガンバレ!!**
.....by あこ

クリスマス
クリスマス
クリスマス

あ足一りつたすいだけすればかな?
必他えにいつと何かが
こ考：な何必本祝
とえをいが要当う
とをのの必要なた
み冷か必要の何が
静かかじやかすを
るに?や?にを
かな?

そぎ落とし
救い原点を黙想
乾杯はそれから♪

12月の教会暦

3日(日) 待降節第1主日
宣教地召命促進の日(献金)

7日(木) 聖アンブロジオ司教教会博士(記)

8日(金) 無原罪の聖マリア(祭)

10日(日) 待降節第2主日

13日(水) 聖ルチアおとめ殉教者(記)

14日(木) 聖ヨハネ(十字架の)司教教会博士(記)

17日(日) 待降節第3主日

24日(日) 待降節第4主日

25日(月) 主の降誕(祭)

26日(火) 聖ステファノ殉教者(祝)

27日(水) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝)

28日(木) 幼子殉教者(祝)

31日(日) 聖家族(祝)

1月の主な教会暦(主日・祭日など)

1日(月) 神の母聖マリア(祭)

7日(日) 世界の平和の日

14日(日) 主の公現(祭)

21日(日) 年間第2主日

28日(日) 年間第3主日

1月4日(木) 世界こども助け合いの日(献金)

1月

11日(木) 常任司教委員会

16日(火) カトリック神学院(福岡)

23日(火) 南山学園評議員会

24日(水) カトリック幼稚園連盟園長会

25日(木) 大阪教会管区司教会議

12月

11月30日(木) 国際シンポジウム(韓国)

6日(水) 日本カトリック難民移住移動者委員会

7日(木) 常任司教委員会

11日(月) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

14日(木) 臨時司教総会、司教研修会

12月の教会暦

3日(日) 待降節第1主日
宣教地召命促進の日(献金)

7日(木) 聖アンブロジオ司教教会博士(記)

8日(金) 無原罪の聖マリア(祭)

10日(日) 待降節第2主日

13日(水) 聖ルチアおとめ殉教者(記)

14日(木) 聖ヨハネ(十字架の)司教教会博士(記)

17日(日) 待降節第3主日

24日(日) 待降節第4主日

25日(月) 主の降誕(祭)

26日(火) 聖ステファノ殉教者(祝)

27日(水) 聖ヨハネ使徒福音記者(祝)

28日(木) 幼子殉教者(祝)

31日(日) 聖家族(祝)

1月

4日(木) 教区事務所仕事始め

8日(月) 濃尾B会議

9日(火) 樹の会

13日(土) 共助連絡会

14日(日) 三河B会議/城東B会議/教区中高生会

18日(木) 司祭月集*/教区顧問会*

21日(日) 新成人を祝う新年の集い*/青年委員会

27日(土) 典礼委員会

28日(日) 富山教会堅信式*/教会学

29日(月) 北陸ブロック司祭会議*

31日(水) 社会福祉委員会

《一日静修特別黙想会のご案内》

指導司祭 九里 彰 神父(跣足男子カルメル修道会)

日時 12月9日(土) 17:00 ~ 10日(日) 16:00

場所 宇治聖テレジア修道院(黙想の家) TEL 0774-32-7016
〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12
JR奈良線・京都市営地下鉄東西線 六地藏駅下車 徒歩15分

参加費 6,000円(宿泊費+食費)

申し込み ハガキ/〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係
E-mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
Fax / 0568-62-5167
(カルメル修道会主催 名古屋カルメル在世会協賛)

告知板

◆12月の炊き出し 木7日東山
14日布池、21日聖霊・樹の会・南山
金1日喜望の会、8日南山、15日一宮、22日南山

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

建設費の返済に協力を

570件 28,600,675円
目標額 40,000,000円(10月末)

達成率 約71.5%

8・9・10月と支援金ふりこみ0円です。皆様のご協力を再度お願いいたします。

聖歌隊 南山大学スコラ・カントールム 第14回定期演奏会

日時・場所 12月16(土) 多治見修道院大聖堂
12月17(日) 神言神学院大聖堂
開演14:30(開場14:00) 入場無料

プログラム
・混声4部合唱曲「前へ」(佐藤賢太郎)
・ハインリヒ・イザーク没後500年記念ステージ
・宗教改革500年記念—ドイツ語圏のクリスマス「Vom Himmel hoch」「Stille Nacht」ほか全8曲
・クリスマス・キャロル集「Rejoice and sing!」「O Holy Night」ほか全6曲

その他 駐車場には限りがございます。公共交通機関をご利用ください。聖堂内冷え込みますので暖かい服装でお越しください。未就学児のご来場はご遠慮ください。

問合せ nanschomail@gmail.com (渉外:松井)

カトリック名古屋教区 障害者連絡会からお知らせ

どんな障害を持っていても、誰もが「生まれてきてよかった」と言える人生を過ごせるように、カ障連名古屋は教区社会福祉委員会と共催で次の集いを企画しています。

「教区障害者の黙想会」

日程 2018年3月17日(土)~18日(日)

場所 カトリック多治見教会

詳細が決まりましたら、お知らせいたします。

24時間聖体顕示式

2017年10月より主税町記念聖堂で、聖体礼拝が行われています。また開始時と終了時にはミサが行われます。どうぞご参列ください。

日時 毎月第2・第4木曜日 19:00 ~ 金曜日 19:00

場所 主税町記念聖堂

主催 カトリック名古屋教区

責任者 平田政信神父

問合せ 名古屋教区本部事務局 ☎052-935-2223
平田政信神父の携帯電話 090-1623-1170

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)からお知らせ

「ロザリオの祈り」

12月はお休みします。
今回は2018年1月14日(日) 14:00から。

「読書会」

12月はお休みします。
詳しくは下記まで問い合わせください
聖パウロ書院 ☎052-936-4443

~ 信仰講座のご案内 ~

テーマ「実りある四旬節を過ごし、復活の喜びを味わうために」

講座日 2018年1月17日(水) 1月24日(水)
1月31日(水) 2月7日(水)

時間 午前10時~午前11時30分

場所 聖パウロ書院 1階ホール

参加費 6,000円(4回の講座分です)

復活祭が私達にとってどういう意味か、どういう意味として私達が受け入れるか。洗礼を受けてキリストと共にこの人生を歩もうとしているか、もうすでに歩んでいる私たちが、何故キリスト教を選んだのか。何故キリストを信じているか、四旬節の前に学び再発見してみませんか。「イエス・キリストが死と復活をもって、私達に永遠の命を与えて下さった」この重要なことがらを信仰の基礎を、講師を招いて4回の講座で学びます。

問い合わせ/申し込み 聖パウロ書院
〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1-13-2
Tel 052-936-4443 Fax 052-799-4461
e-mail : nagoya-shoin@pauline.or.jp

X'mas おすすめ絵本

「パノフじいちゃんのすてきな日クリスマス」

女子パウロ会発行 1,188円(税込)

トルストイの名作『愛のあるところに神はおられる』というクリスマス物語は『くつやのマルチン』の絵本で知られています。ずうっと昔の、ロシアの小さな村でのクリスマスの心あたたまるできごと。トルストイの書いたこの昔ながらの民話を、いまの時代の子どもたちに喜ばれるよう、ミグ・ホルダーが書きなおしてくれました。

「あいたくて あいたくて」

女子パウロ会発行 1,296円(税込)

嫌われ者のおおかみと、ひとりぼっちのけむしの愛と友情のお話。意地悪ばかりして嫌われ者のおおかみと、ひとりぼっちのけむしが友達になりました。「これからは、ずっとずっといっしょだよ。」ふたりは毎日たのしく遊び、幸せでした。ところが、ある日けむしが……!「オ——イ、けむし——!」おおかみの叫び声が響きます。嫌われ者のおおかみと、ひとりぼっちのけむしの愛と友情のすてきなお話です。

教区ニュースの記事投稿・掲載について

教区ニュースに記事を投稿、掲載をご希望の方は下記要領で受付します。期日までにお送り願います。

○教区ニュース1月号 → 12月5日まで。
○教区ニュース2月号 → 1月5日まで。

毎月5日までに到着したものは翌月号に掲載可。紙面の関係で翌々月になる場合もあります。また記事によっては掲載出来ない事もありますのでご承知おき下さい。

送り先 〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部 宛て
Eメール : koho@nagoya-diocese.jp

名古屋教区本部事務局の年末年始の予定

名古屋教区本部事務局は下記の通りお休みとなります。ご不便をおかけしますがご了承願います。

12月26日(火) 仕事納め
12月27日(水)~1月3日(水) 休館
1月4日(木) 仕事始め